

21世紀を担う調和のとれた人間教育

今回、埼玉県県民生活部人権・男女共同参画課より、講師の持田 倫武さんをお招きし、中学2年生を対象に人権に関する講演をしていただきました。普段はあまり意識しないかもしれませんが、非常に重要なのが人権です。講演を通して、あらためて私たちが多くの人権に守られていること等を理解する貴重な時間となりました。

以下より、中学2年生の生活委員による講演内容のまとめや、人権について考えたことを掲載しますので、皆さんもぜひご一読下さい。また、これを機会に人権について考えてみてください。

●講演内容「教室中での人権」

○そもそも人権とは・・・「人として幸せに生きる権利」のことを言います。

○身近な人権問題

〈障がいのある人〉

障がい者は日常生活や社会生活を送ることが不便です。知らない障がいもたくさんあるので、それぞれの特性を知ることが大切です。

〈同和問題〉

同和問題とは同和地区（被差別部落）に生まれた等を理由に差別を受けることです。人は皆同じ人間です。差別をするのはやめましょう。

〈外国人〉

外国人やハーフの人たちの人権問題があります。互いの違いを認め合い、助け合いながら共に生きていきましょう。

〈インターネットによる人権侵害〉

何気ない書き込みで人を傷つけたりトラブルや犯罪に巻き込まれる危険性があります。日常でしないことはネットでもしないことが大切です。

〈性的指向・性自認〉

LGBTQだと学校ではいじめ、就職活動では内定の取り消しなどの問題が起きています。多様な性のあり方を尊重しましょう。

〈女性〉

現在も男女の役割を固定的に捉える意識が根強く残っているので、そのアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見や思い込み）を少しずつなくしていくことが大切です。

〈子ども〉

最近ではインターネット上の掲示板やEメールを悪用するなどのいじめが多くなっています。いじめる側にいじめに対する認識や自覚が不足しています。

これらのことを理解し、行動に移すことが人権を守る上で大切です。

●人権について生活委員が考えたこと

○女性の人権について

「男は仕事、女は家庭」といった男女の役割を固定的に捉える意識が社会に根強く残っているため、女性の議員や女性の会社員が増えることによって他の女性も仕事に行きやすくなると思いました。また、パートナーからの暴力や職場などにおけるセクシャル・ハラスメント、性犯罪などをなくすために女性が相談しやすい窓口を設けていくことが大切だと思いました。

○LGBTQについて

学校で性自認と異なる制服が嫌で学校に行けなくなる人もいたり、学校で自分を否定されることを言われていじめを受けたりする事例もあります。ですので、LGBTQについてしっかりと理解を深めなければならないし、学校もこの問題に対しての対策を練ってほしいと思いました。

○インターネットによる人権侵害について

インターネットの急速な普及により、人とのコミュニケーションはとても身近になり、私たちの生活は飛躍的に便利になった反面、何気ない書き込みによって人を傷つけたり、思いもよらぬトラブルや犯罪に巻き込まれてしまう危険性があります。また、子どもや青少年がSNSの利用によって性被害や違法薬物などの犯罪に巻き込まれることが増加しているのが現状です。これらの被害を防ぐために、怪しいと思ったら親や学校、身近な大人に相談することが大切だと思いました。